

国保滞納差し押さえ急増

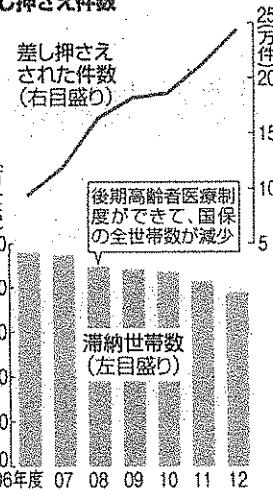
12年度  
24万件

国民健康保険の保険料を  
滞納している人に対し、市  
区町村が預貯金や給料など  
を差し押さえて強制的に滞  
納分を支払わせている。2  
012年度には全国で5年  
前の約2倍の約24万件に急  
増した。国保には高齢者や  
非正規労働者が多く、急に  
生活苦に追いやられる人が  
出るおそれがある。

の手取りから国保の保険料が引かれたからだ。家賃などを払えば、手元には約2万円しか残らない。

昨年10月に保険料の滞納額が約30万円になったのを機に市から給料を差し押さえられ、11月から月約7万円が強制的に引き去られるようになつた。非正規で働くため、国保に入る。だが、家賃や生活費でかつてはなるため、月2万数千円の保険料は1万5千円しか払

給料だ。使えだ。効つかない。送つてしまふ。普段えずく。國民健康保険料の滞納世帯数と差し押さえ件数



し、全国の市区町村が12年度に財産や給料を差し押さえたのは約24万件、差し押さえ総額は約900億円にのぼる。平均で40万円近く差し押さえられている。

国保は08年度に保険料の徴収率が9割を割り込み、厚労省は市区町村に徴収の強化を指示している。市区町村はこれを受け、滞納が長引く人の差し押さえを増やし始めた。

だが、国保の加入者は、高齢者などの無職と非正規労働者が8割を占める。所得に対する保険料負担率の平均は、会社員らが入る協会けんぽの5%に対して国保は約10%と高く、一律に給料などを差し押さえて滞納分を扱わざると生活が

苦しくなる。  
神奈川県鎌倉市の元保険  
年金課長で「収納課長競戦  
記」の著書がある小金丸良  
さんは「払う金があるかな  
いかを確かめずに差し押さ

えると、生活基盤を壊す。  
生活保護を増やすなどの逆  
効果さえある」と話し、生  
活状態を考慮した徵収が必  
要ではない旨を述べた。